

第1回キラッと輝く！OSAKA市民活動グランプリ

「みんなのおまつい」

2015年度助成事業：旭区大好き！楽しい子育て応援フェスタ(仮)

NPO法人子どもセンターあさひ

子どもセンターあさひでは

子ども達がもつ想像力・創造力を育み

「自ら考え行動できる力＝生きる力」をのばしたい！



子どもセンターあさひでは、
主に乳幼児から小・中学生の親子を
対象にした、体験活動・舞台鑑賞事業・
地域交流事業を行っています。



「第1回 みんなのおまつり」

2015.11.1(日)会場:大阪市立旭区民センター

事業概要:子育て世代の社会的孤立の解消に向け、幼児・小学生の親子を対象にした、行政や地域団体・商店街などと連携し、安心して楽しめるおまつりを開催。協力店舗は区内の商店街から多数参加し、地域の高校の協力により学生ボランティアが中心となっています。毎年参画団体や参加者が増え、幅広い世代での交流の場となり、地域との連携が深まり、安心して暮らせる社会は、市民の手で作り上げるということを実感できるよう取り組んでいます。

ものづくり作家さんによるWS



地域のお店・手作りショップ



本助成を受け、旭・都島・城東区の小学校・幼稚園・保育園にてチラシを配布していただいたり、旭区社会福祉協議会の後援も得て、広く広報いただき、当日は約700人の参加がありました。

第2回みんなのおまつり 開催

2016.11.20 会場：旭区民センター

より地域の高校・大学の協力を得られ、若者の活躍が光りました！



大阪府立旭高等学校



常翔学園高等学校 科学部



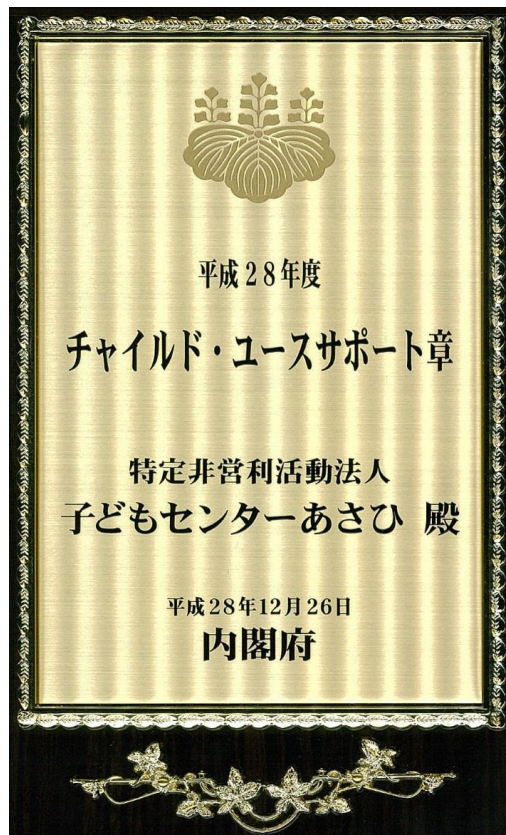
大阪工業大学 ジャグリングクラブ



大阪市立鶴見商業高等学校 ダンス部

内閣府の「チャイルド・ユースサポート章」受章

2016年12月



大阪市より推薦をいただき、内閣府の
「チャイルド・ユースサポート章」を受章。
子ども・若者を育成支援する活動が認められ、
内閣府のHPにて、子どもセンターの
活動が事例紹介されることになりました。

→さらに子ども・若者に
役立つ活動を！との思いを新たに

活動の成果

「小さな子どもものづくりが楽しめてよかった」「高校生達がさわやかでよかった」「旭区のいろんなお店が知れてよかった」など、参加された方からたくさんの感想があります。

高校生達も「相手のために何かをして喜んでもらえ嬉しかった」「初めてのボランティアで不安だったけど、“笑顔が人を幸せにする”ことを知った」

「つくる側の大変さ・楽しさを体験できた」「自分の地域でもこういうことをしたい」などたくさんの出会い・学びがあります。

子育てに日々忙しい世代にとっては、どうしても近視眼的になってしまいがちですが、高校生などとの交流で、少し先の子ども達の成長を思い描く機会ともなっています。安心して暮らせる街づくりは、子ども・若者を中心にして、なされるのだと多くの方々に共感していただける、幅広い年齢層での交流の場となっています。



事業の発展

助成申請時に、行政等との連携の取り方・大切さをアドバイスいただき、初回は会場の確保すら困難でしたが、区役所や社協との連携をもつことができ、現在も継続・発展してきており、回を増すごとに、参画していただける学校・地域のお店・団体などが増え、参加者も増加してきています。本助成をきっかけに、行政や学校・商店街など地域とのつながりが広がり、その後の活動の発展に結びつき、とても感謝しています。



撮影係：
工芸高校映像学科の
学生さん



工芸高校：木工クラフト



信愛女学院高等学校：大型絵本の読み聞かせ



旭高校：あそびコーナー

活動の広がり: 高校生や出店者さんたちが体験事業の講師に



工芸高校 [木工体験]



常翔学園高校 [科学実験]



園芸高校 [そば打ち体験]



和菓子職人



バルーンアーティスト



書道家



パティシエ

活動の広がり: 日常の取り組みへの参加

「リラミック～リラクゼーションリトミック～」

(未就学児の親子対象)

月2回開催

前半：リトミック

後半：自由あそび／ほっこりtea time



活動の広がり: 市民上映会での学び・交流

「第1回 みんなのおまつり」時に『みんなの学校』の上映会

全ての子どもに居場所がある学校作りを目指す小学校の取組を追いつけた教育ドキュメント。親や地域ができることを学ぶ場をもちました。「地域で子育て」のヒントがいっぱい。



子どもセンターあさひ市民上映会

『0円キッチン』（テーマ：食品ロス）
『できる』（テーマ：SDGs 持続可能な暮らし）
2020年度実施

『いただきます』（テーマ：食育）
2017年度実施



活動の広がり: 地域の方々に支えられ



2020年度「みんなのおまつり」は
コロナ禍にあり実施せず



地域の商店街の協力により
「いいふくの日フリマ」開催（11月）



今後の抱負

日常の取り組みでも、より高校生・大学生の参画を増やしていきたい。

子どもセンターでのボランティア経験を積み、子どもに関わる職業に就くユースメンバーも増えてきていますが、社会の担い手となる人材育成の場でありたいです。

安心して暮らせるあったかい社会づくりは、市民の手で作り上げることを実感できるような異年令で交流できるおまつりを開催することの意義を、コロナ禍の今、再確認しています。

行政サービスを享受することに受け身であるだけでなく、市民の力でよりよい地域づくりができる！ということを今後も発信していきたいです。

**「自分の地域でも
こういうことがしてみたい！」
との高校生の感想は
最高のやいがい！！**